

千葉工務協主催
退職者お疲れ様会開催される

3年ぶりの開催となりました。

11月20日(日)12時～蘇我「和風料理かめや」に於いて千葉工務協主催退職者お疲れ様会が開催されました。

最初に、千葉工務協海後事務長の司会で千葉工務協森田議長と千葉地本加藤委員長の退職者に対する労いなどの挨拶の後、2020年7月29日に志半ばで亡くなられた当分会の対象者であった大和田さんのご冥福を祈って黙とうを捧げました。その後、当分会の嶋田さんの乾杯で始まりました。

退職者お疲れ様会はJR現役組合員退職者を対象として毎年開催されていましたが、2020年からは新型コロナウイルス感染拡大から中止せざる負えなくなり、今回に至りました。2019年度から2021年度が対象者であり、当分会の対象者は10名(2020年度=8名・2021年度=2名・2022年度=0名)でした。だが、コロナ感染拡大の第8波で開催が危ぶまれましたが、状況を把握ながら感染防止対策を第一とし、参加者を23名にしながらか分会からは3名が参加しました。

コロナの影響や当日出番で参加できなかった方々もいましたので、少し寂しさを感じましたが、久しぶりに会えた工務協OBの姿があり、懐かしさのあまりに話が盛り上がり、時間があっという間に過ぎた退職者お疲れ様会でした。



蘇我「和風料理 かめや」にて

2022年度の
賃金実態アンケート調査から

「来春闘」で要求する賃上
分会要求額は50,000円

毎年9月の賃金アンケート調査を分会集約してみました。

その結果、新小岩保線分会の組合員数は14名中、平均年齢が62歳となり、13名が



エルダーでJR現職が1名という現状です。生活でいま一番改善したいことに対して「年金問題」「税金や社会保険料の軽減」が集中しており、高齢化に対する不安が増えています。「来春闘」で要求する賃上げ額は平均で50,000円であり、その根拠は「病気・老後の備え・介護」でした。

その他、ご意見・ご要望は、

■急速な世代交代も、来年は国鉄最後の採用者が退職を迎え、その時期が終わろうとしている。こういう変化点だからこそ事故の知らない若手社員が増えてくる。「安全・安定輸送の確保」をしていく為にも国労をはじめとしたJRの労組と共に頑張っていくことが大切。

■再雇用で希望ではない職場に行かされ、労働条件が聞いている話と行った先での働き方が違うことが多い問題があった場合、きちんと組合が中に入って改善すべきである。組合費だけ取って知らぬ存ぜぬでは65歳まで働き続けられない。組織拡大も重要だが、今大多数の仲間が出向に出されている問題点を上げればきちんと対応してもらえるのか?何とかすべきである。

■共に頑張ろう!

以上です。

～当面する行動～

1月14日(土) 拡大分会長会議 13時～
場所;千葉県教育会館本館604号室
1月25日(水) 新保分会執行委員会 18時～
場所:国労千葉地本会議室